

ILLUSTRATOR PROFILE



松本 零士（まつもと れいじ）

日本の漫画家。本名、松本 晟（まつもと あきら）。北九州市漫画ミュージアム名誉館長。福岡県久留米市生まれ。小学校3年生のとき小倉市（現在の北九州市）に移る。高校在学時に漫画家デビューし、卒業後に上京。東京都練馬区在住。旭日小綬章、紫綬褒章、フランス芸術文化勲章シュバリエ受章。称号は練馬区名誉区民。代表作に「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」「宇宙海賊キャプテンハーロック」など。SF漫画作家として知られるが、少女漫画、戦争もの、動物ものなどさまざまなジャンルの漫画を描いている。アニメ製作にも積極的にに関わり、1970年代半ばから1980年代にかけては松本アニメブームを巻き起こした。2018年に80歳を迎え、「松本零士 生誕80周年 プロジェクト」を展開。「銀河鉄道999」の舞台化や新作漫画の発表、作品初の実写ドラマ化、日本酒のラベルデザイン、紙芝居の原作・監修など新しい活動を立ち上げた。また、東京都観光汽船（東京クルーズ）の水上バスのデザインも手掛け、北九州市下水道100周年を記念して市内10カ所に設置されたデザインマンホールに、「銀河鉄道999」をはじめとするイラストを提供するなど、多方面で活躍が続けている。

北九州市 市勢概要2019

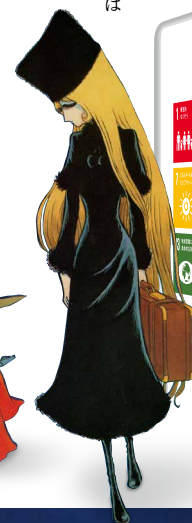
発行：令和元年9月
企画編集：北九州市広報室広報課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/>
TEL 093-582-2236 FAX 093-582-2243
北九州市印刷物登録番号 第1904003B号



北九州市 市勢概要2019 Guide of Kitakyushu

創造都市・北九州市には
希望がいっぱい

このまちには
夢が育つ
プラットホームが
あるんだね



©松本 零士

皿倉山（八幡東区）からの夜景

山頂から望む大パノラマの夜景は、新日本三大夜景に選ばれています。

・皿倉山をはじめ、高塔山、足立公園など、6つの「夜景遺産」を有する北九州市は、夜景が美しい都市として、平成30年10月、「日本新三大夜景都市」に認定されました。



夢を育み、 輝く未来を創るまち

このまちに生まれ、遊び、学び、働く。

子どもを生み、育てる。人と出会い、集う。

北九州市は、多様なライフステージにおいて、

安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

ふれあい、つながり、支え合い、夢が育つプラットフォームであり続けます。

MESSAGE

北九州市はこれまで、「50歳から住みたい地方ランキング(民間雑誌)」で全国第1位、子育て環境は、「次世代育成環境ランキング(NPO調べ)」で8年連続政令指定都市第1位となるなど、「暮らしやすさ」「住みよさ」が、全国からも高い評価を受けています。

また、平成30年には、OECDよりアジア地域で初となる「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定されるなど、本市の「人にやさしく元気なまちづくり」は、国内にとどまらず、国外からも注目を集めています。

さらに、「東アジア文化都市2020北九州」の成功に向け、文化芸術の力により、人やまちをさらに元気にする創造的なまちづくりも進めています。

皆様が、この「市勢概要」を通じ、「日本一住みよいまち・北九州市」の実現を目指す本市の魅力を感じていただけることを願っています。



北九州市長
北 橋 健 治



SPECIAL REPORT P03

- 北九州市の「暮らしやすさ」「住みよさ」
- 北九州市の挑戦「SDGs未来都市のトップランナーへ」

どうして北九州市は「住みよい」のか? P07

- 就労サポート
- 子育て・教育
- 安全と安心
- 産業力
- 環境力

“工業都市”から“創造都市”へ P17

文化 & スポーツに触れる P19

観光 & おでかけMAP P21

食の宝庫 de 美味三昧、イベント de にぎわい P23

北九州市の歴史 P25

データで見る北九州市、北九州市アラカルト P27

北九州市の「暮らしやすさ」「住みよさ」

北九州市は、都会の便利さと田舎の快適さをあわせ持ち、幅広い世代が住みよさを実感できるまちです。

子育て支援、シニアライフ支援、物価の安さ、充実した医療支援などが高く評価され、さまざまなランキングで日本一に選ばれています。

次世代育成環境ランキング 8年連続第1位!

第14回「次世代育成環境ランキング」(NPO法人エガリテ大手前実施)において、北九州市は8年連続で政令指定都市第1位に選ばれました。これは、自治体の子育て支援の取り組み状況についての環境評価を行っているもので、「出産環境」「小児医療」などが高評価となり、調査開始後14年間のうち13年間、全国の政令指定都市で第1位の評価を得ています。

INTERVIEW

家族と一緒に、便利で快適な生活を楽しんでいます。

チームの移籍により、家族と一緒に香川県から北九州市にきました。小倉はいろいろなものがそろっていて、田舎でも都会でもないところが好きです。新幹線の駅もあり、交通の便がすごく良いですね。とても住みやすいと思います。お店のジャンルが幅広く、家族でいろいろな料理が楽しめるのもうれしいですね。市のシンボルチームとして【この北九州(まち)のために】頑張りますので、応援よろしくお願いします!



ギラヴァンツ北九州 岡村 和哉さん

誰もが安心して暮らせる魅力的なまちね



👑 北九州市 1位

熊本市	2位
京都市	3位
岡山市	4位
大阪市	5位
仙台市	6位

第14回「次世代育成環境ランキング」
政令指定都市の上位6自治体

「住みたい田舎ベストランキング」 シニア部門で2年連続全国第1位!

「2019年版 住みたい田舎ベストランキング」(人口10万人以上の大きなまち)で、北九州市が昨年に引き続き、シニア世代部門で全国第1位を獲得しました。そのほか、子育て世代部門第5位、若者世代部門第6位となり、総合部門では第4位を獲得するなど、北九州市のバランスの取れた暮らしやすさが幅広い世代で評価されています。

【人口10万人以上の大きなまちランキング】

総合部門	4位
若者部門	6位
子育て部門	5位

👑 シニア部門 1位

宝島社「田舎暮らしの本」2019年2月号

INTERVIEW

障害があっても、スポーツに挑戦できる環境です。



パラアーチェリー選手 重定 知佳さん
(林テレンプ株式会社所属、
東京2020パラリンピック競技大会日本代表内定)

両足麻痺のため、移動には車いすを利用しています。市内にある障害者専用のスポーツセンターで、アーチェリーを始めました。現在の練習場は障害者専用ではありませんが、周囲の方が練習しやすい環境を整えてくれるので助かっています。北九州市には医療機関が多く、ケガをしてもすぐに診てもらえるので安心ですね。東京パラリンピックでは【てっぺん】を目指し、生まれ育った北九州市から戦いに臨みたいと思います。



鉄郎、旅が終わったら私たちが住みましょう

東京都区部に比べて家賃が半額以下!!

北九州市の家賃の安さは政令指定都市で第4位です。民間賃貸住宅の1カ月3.3㎡(1坪)あたりの平均家賃は東京都区部の半額以下なので、安い家賃で広い家に暮らすことができます。また、物価の安さも政令指定都市で第2位。他都市と比べても暮らしやすいまちと言えます。

民間賃貸住宅の平均家賃
【1カ月3.3㎡あたり】(円)

札幌市	🏠 1 3,689
浜松市	🏠 1 3,739
熊本市	🏠 1 3,873
北九州市	🏠 1 3,993
名古屋市	🏠 2 4,948
大阪市	🏠 2 5,907
東京都区部	🏠 3 8,566

※ 資料:総務省平成30年小売物価統計調査

INTERVIEW

理想の暮らしを、自然体で叶えられるまちです。

2年半ほど前、妻の実家がある北九州市へ越して来ました。東京でアパレル関係の仕事をしていた頃は、週末も出勤し終電で帰宅する毎日。子どもの誕生をきっかけに、自分が本当に望む生活をしたいと思い、市のお試し居住制度を利用して移住を決めました。実際に暮らしてみて、家賃や食費など物価の安さを感じています。都市機能も自然もあり、住環境は抜群です。近い将来、マイホームの夢を叶えたいですね。



小倉北区在住 齊藤 史朗さん

北九州市の挑戦 「SDGs未来都市のトップランナーへ」

エス・ディー・ジーズ
SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。2030年までに全世界で取り組む共通目標として、2015年9月の国連サミットで採択されました。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)に向けて、日本も積極的に取り組んでいます。

北九州市は「SDGs未来都市」として、SDGsの取り組みを通してシビックプライド(まちへの愛着)を醸成し、市民生活の質や都市ブランド力を高めていきます。



北九州市のSDGsの取り組みは 国内外から高い評価を受けています



▲首相官邸での表彰式 写真提供:内閣広報室

第1回「ジャパンSDGsアワード」 特別賞を受賞(2017年12月26日)

280団体以上の応募の中から12団体が受賞(自治体は北九州市と他1自治体のみ)。



▲共同記者会見

OECDが「SDGs推進に向けた 世界のモデル都市」に北九州市を 選定(2018年4月18日)

ドイツ・ボンなど9都市(2019年5月現在)が選定されました。アジア地域では北九州市が初。



「SDGs未来都市」に選定 (2018年6月15日)

北九州市は、国から「SDGs未来都市」の一つに選定され、その中でも特に先進的な取り組みを行う「自治体SDGsモデル事業」(全国で10事業のみ)にも選定されました。

北九州市のSDGs戦略

北九州市は、持続可能なまちづくりのために、「経済」「社会」「環境」の3分野で、技術力・市民力を生かした取り組みを推進しています。



社会

「一人ひとりが行動し、 みんなが輝く社会を拓く」

- ジェンダー等の取り組みによる誰もが活躍できる場の創出
- 市民参加型の活動による生活の質(QOL)の向上

北九州市のSDGs達成に向けた取り組み例

市民を中心としたESD※や市民活動の推進

<北九州ESD協議会の取り組み>

「地域・NPO+大学」のコラボレーション



▲イベント(交流会)



▲大学生による、
子ども向けESD講義



イベント▶
(九州地区
ESD会議)



※ESD: Education for Sustainable Development
(持続可能な開発のための教育)

経済

「人と環境の調和により、 新たな産業を拓く」

- 先進のまちを目指した新たなビジネスの創出
- 新たな産業の核となるエネルギー産業の創出

北九州市のSDGs達成に向けた取り組み例

次世代エネルギーの拠点化

多様なエネルギー供給の総合ショールーム(響灘地区)



▲洋上風力発電



▲メガソーラー



環境

「世界のモデルとなる 持続可能なまちを拓く」

- 他都市のモデルとなるエネルギー・環境・循環システムの構築
- コンパクトなまちの形成によるストック型社会の創造
- 技術と経験を生かした国際貢献の推進

北九州市のSDGs達成に向けた取り組み例

国際技術協力&海外水ビジネス

- 専門家の派遣や、研修生の受け入れを通じた、国際貢献、人材育成や人的ネットワークの構築
- 「北九州市海外水ビジネス推進協議会」と連携し、ベトナム、カンボジア、インドネシアを中心に海外水ビジネスを展開



どうして北九州市は「住みよい」のか？

北九州市の就労サポート

北九州市では、定住・移住する人への就職支援も万全です。
若年者から中高年齢者、女性や起業を目指す人など、
北九州市での就職を応援します。



働くための支援が
とても充実しているわ



国、県、市の連携施設「ウーマンワークカフェ北九州」 女性の「はたらく」をワンストップでサポート！全国初!!

平成28年5月にオープンした「ウーマンワークカフェ北九州」。国・県・市の支援機関が1カ所に集まる全国初の施設で、女性の就職支援や創業サポート、保育サービスに関する情報の提供など、さまざまなサービスをワンストップで提供しています。

女性の就職支援

国の「マザーズハローワーク北九州」では、全国のハローワーク求人票が検索でき、子育てと両立できる仕事の紹介など相談者の状況に合わせた就職支援や、各種セミナーの開催をしています。また、子育て中の女性を対象にきめ細やかな支援を行う「福岡県子育て女性就職支援センター」や市の「保育士・保育所支援センター」「ひとり親家庭向け就業支援」などさまざまな事業を行っています。

創業相談

これから創業を検討している女性や、創業して間もない女性を対象に、創業・経営に関する相談に応じるほか、セミナーの開催など、創業全般に関する支援を行います。



▲相談しやすい環境が整っています。



ウーマンワークカフェ北九州

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1 AIMビル2階
●開館時間：10～18時 ●休館日：日、祝日、年末年始
●お問い合わせ先：093-551-0092

子育てとの両立支援

保育サービスコンシェルジュが、就職と併せて保育所入所などの保育サービスに関する相談に応じます。



▲就職や創業などに関する各種セミナーを開催

U・Iターン応援プロジェクト

北九州市へのU・Iターン就職希望者と市内企業をつなぐサービスです。インターネットを活用した求人情報等の提供や、市内・東京2カ所の常設窓口での相談など、遠方の求職者や市内近辺に住む家族も無料で利用することができます。

幅広い世代を対象とした「帰省時期の相談会」や「東京での出張相談」のほか、20代・30代で初めて転職する方や、概ね50歳以上の知識・経験が豊富な方に特化した支援も行っています。(平成30年度就職決定者数：230人)

北九州市U・Iターン応援オフィス

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1 AIMビル2階

●開館時間：10～18時 ●休館日：日、祝日、年末年始 ●お問い合わせ先：0120-0823-46

自分にはついたり
仕事を見つけに
行こう！



▲U・Iターン応援オフィス

学生たちの未来を見据えたキャリア教育

北九州市では、主体的に進路や職業を選択する力を育む「キャリア教育」に力を入れています。その取り組みとして、仕事や学びについて考え、地元の魅力を知るイベント「北九州ゆめみらいワーク」を開催しています。主に小・中学生・高校生を対象に、企業・大学・短期大学・専門学校の人々と交流する機会を設け、社会との関わり方や将来の働き方について、楽しみながら考えていきます。

北九州ゆめみらいワーク 毎年8月に開催しています。

参加企業
学校等

約120団体

来場
対象

小・中学生・高校生・大学生
保護者・教員など

来場
者数

延べ7,000人



▲約120の企業や学校が参加

シニア・ハローワーク

シニア・ハローワーク(北九州市高齢者就業支援センター)では、高齢者の多様な職業ニーズに応じた就業機会の提供を行っています。専門のカウンセラーによる「適性診断」「キャリアカウンセリング」、スキルアップのための「能力開発講座」を実施するなど、「再就職支援」を総合的にサポートしています。

また、全国で初めて設置された、概ね50歳以上の求職者を重点的に支援する国の「シニア・ハローワーク戸畑」があり、市と国が緊密に連携し、多様なニーズに応じた就労支援を行っています。

シニア・ハローワーク

(北九州市高齢者就業支援センター)

北九州市戸畑区汐井町1-6
ウェルとばた8階

●開館時間：9～17時

(受け付けは16時30分まで)

●休館日：土、日、祝日、年末年始

●お問い合わせ先：093-882-5400

創業支援の充実

「日本一起業家に優しいまち」を目指して、産学金官が一体となった創業支援を行っています。起業家と支援者がフラットな関係で気軽につながる「北九州スタートアップネットワークの会」や、創業相談窓口とコワーキングスペースが設置されたインキュベーション施設「COMPASS小倉」など、起業を目指す人のための環境が充実しています。



COMPASS小倉 (北九州テレワークセンター)
powered by fabbit

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1 AIMビル6階

●開館時間：9～22時 ●休館日：日、年末年始

●お問い合わせ先：093-513-5300



▲セミナー・交流会・ビジネスマッチングを開催



▲気軽に立ち寄れる創業相談窓口

どうして北九州市は「住みよい」のか？

北九州市の子育て・教育

北九州市では、子育て日本一を実感できるまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めています。

到津の森公園(小倉北区)

小児救急医療の充実で安心できる子育てを！

北九州市には、24時間365日の小児救急を実施している小児救急・小児総合医療センター(八幡東区・市立八幡病院内)、国立病院機構小倉医療センター(小倉南区)をはじめ、夜間・休日の小児救急体制が充実しています。また、24時間体制で救急医療の問い合わせに応じるテレフォンセンターも設置しています。



安心の子ども医療費支給制度

北九州市では、健康保険に加入している中学校3年生(満15歳に達する以後の最初の3月31日)までの子どもを対象に、保険診療による医療費の自己負担額を助成しています。

**通院は小学校6年生まで、
入院は中学校3年生までを助成**

医療費のうち、保険診療による自己負担額を一部助成しています。通院は小学校6年生まで助成を受けられます(調剤は無料)。入院については、中学校3年生まで無料です。

助成を受ける方法

子どもが県内の医療機関にかかるときは、「健康保険証」と「子ども医療証」を医療機関の窓口提示することにより、助成が受けられます。子ども医療証の交付手続きは、住所地の各区役所、一部出張所で行っています。



子どもたちが健やかに成長できる環境なのね

「ペリネイタルビジット」事業

【お産前後の子育て相談】のすすめ

政令市初!!



古代くん、このまちなら安心して子育てができるわ

北九州市では、産婦人科医、小児科医と連携して産前産後の子育てを応援しています。安心して楽しく子育てをしてもらうために、妊産婦等が小児科医を訪問して無料で保健指導を受けられる「ペリネイタルビジット」をすすめています。市の事業としては、政令市初の取り組みです。

産婦人科医が小児科医を紹介

産婦人科医に申し出ると、希望する小児科医の紹介が受けられます。対象は初産の妊産婦とご家族、相談期間は妊娠28週から産後2カ月まで。育児不安が強い場合は、経産婦も対象になります。

どんなことでも相談OK

赤ちゃんの病気や日頃のケア、子育てのことなど、小児科医がいろいろな相談に応えます。早くから小児科医と顔なじみになることで、安心して育児に臨めます。

子育て支援施設の充実

子育て中の保護者の負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援拠点として、JR小倉駅近くに「子育てふれあい交流プラザ」、JR黒崎駅近くに「子どもの館」を設置。親子で気軽に訪れ情報交換や育児相談ができる場所として、市内7区の区役所などに、「親子ふれあいルーム」を開設しています。また、子育て情報誌の発行や、情報サイト「子育てマップ北九州」も開設しています。

子育てマップ北九州

<https://maps.kosodate-fureai.jp>

検索

北九州市立
子育てふれあい交流プラザ

親子で楽しく遊んだり、学んだり、体験したり。子育て、親育ちのヒントがいっぱいの屋内施設。主に就学前の子どもとその家族を対象としています。



北九州市立 子どもの館

子どもから大人まで楽しめる、遊び・体験・子育て・交流の施設です。250人収容可能な「子どもホール」、誕生会や会議に利用できる「パーティールーム」などの貸館もあります。



赤ちゃんの駅

授乳やオムツ替えなどで立ち寄れる施設を「赤ちゃんの駅」として登録しています。各施設は、「子育てマップ北九州」に掲載しています。



子どもひまわり学習塾

児童生徒の学習習慣と基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための支援として、放課後などを利用し、小・中学校の教室で自主学習を行う「子どもひまわり学習塾」を実施しています。大学生や教員OB、地域の人などが自主的な学びをサポートすることで、児童生徒に分かることの喜び、学習することの楽しさを知る機会を提供しています。

メルちゃんが北九州市の
子育て応援大使として活躍中!!

愛育ドールと呼ばれる子ども向けの人形・メルちゃんが、平成30年4月、「北九州市子育て応援大使」に就任しました。子どもたちや子育て世代に認知度の高いメルちゃんを通じて、北九州市の子育て施策をPRしています。

北九州市子育て応援大使メルちゃん▶



Topic

わたしとの
コラボイベントも
開催します!

どうして北九州市は「住みよい」のか？

北九州市の安全と安心

北九州市では、安全な環境で安心して暮らせるまちを目指して、障害者支援、医療、防犯、防災などさまざまな取り組みを行っています。



安全・安心に関する市政評価 「防犯、暴力追放運動の推進」第1位

北九州市では、平成16年に初めて地域の自主防犯組織である生活安全パトロール隊が結成され、現在では全ての小学校区で、地域のパトロール活動や通学路の見守りが行われる等、市民などによる安全・安心の取り組みが活発に行われています。その結果、刑法犯認知件数は、平成14年の約4万件をピークに減少し、平成30年には約6分の1にまで減少しています。また、平成30年の市政評価アンケート結果では、「防犯、暴力追放運動の推進」が4年連続で1位になるなど、市民から高く評価されています。

北九州市安全・安心条例

北九州市では、平成26年7月に「北九州市安全・安心条例」が施行されました。この条例では、市民や北九州市を訪れる人が「安全・安心を実感できるまちを実現し、それを次世代に継承すること」を目的に、市民、地域団体、事業者、学校と市が、一体となって安全・安心なまちづくりに取り組んでいくことを定めています。

子ども・女性の防犯対策

小学生が、実際にまちを観察して、「犯罪が起きやすい場所」の地図を作ることで「どんな場所が危険なのか」を学ぶ「地域安全マップづくり」を行っています。また、学校や企業に講師を派遣し、「犯罪から身を守る」知識や技術を身に付けてもらうセミナーなど、犯罪者のターゲットになりやすい子どもや女性を対象とした防犯対策を実施しています。

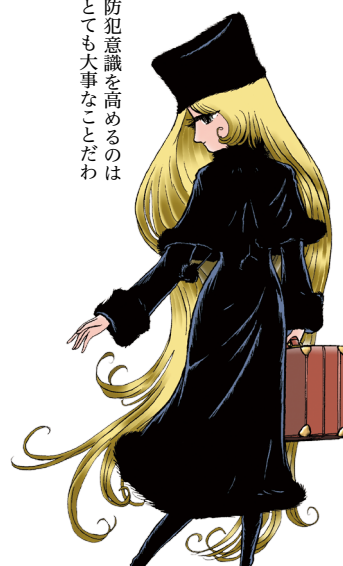


▲地域安全マップづくり



▲女性防犯セミナー

防犯意識を高めるのは
とても大切なことだわ



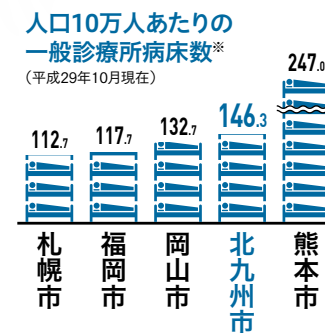
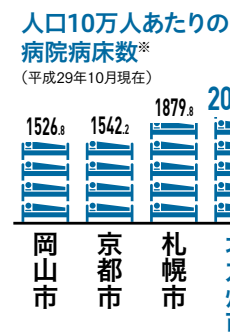
充実の医療機関と救急医療

救急医療体制の整備

患者の状態に応じた三つの段階からなる救急医療体制を整備しており、一刻を争う救急車での搬送は、医療機関と連携を図り、受け入れ体制の整備に努めています。救急車の119番受信から病院到着までの時間は、全国の大都市で1番の早さとなっています。

充実の医療機関・病床数

北九州市の人口10万人あたりの医療機関数は、政令指定都市の中で病院が第3位、診療所が第4位です。病床数は、病院・診療所ともに第2位となっており、医療機関・病床数ともに十分に確保されています。



※ 資料：保健福祉レポート2018(北九州市)



北九州市立総合療育センター

障害のある子どもの療育と医療の中核施設として、先進的な取り組みを行い、全国にも誇れる成果を上げてきました。

平成30年11月には、建物の老朽化やニーズの多様化などに対応するため、婦人科の新設や病床の増床(100床⇒165床)、最新医療機器の導入など、療育機能を強化した新しい総合療育センターを移転オープンしました。



▲CT撮影装置

市民みんなでつくる「災害に強いまち」

北九州市では、災害から命を守りぬぐために、「自助」意識の醸成や、「共助」の風土づくりを目指して、「みんなde Bousai まちづくり推進事業」に取り組んでいます。この事業では、市民が主体となり、「地区Bousai会議」や訓練を通じて、自らが住む地域の特性をふまえた地区防災計画を策定するとともに、市内の大学生を対象に新たな地域防災の担い手となる人材の育成を進めています。

また、災害時に市民が命を守る適切な判断・行動がとれるように、さまざまな災害ごとにその特徴や避難の心得、地域ごとの備えるべき災害を確認するためのハザードマップなどを掲載した「防災ガイドブック」を全戸に配布しています。



たくさんの方が協力して
まちを守っているんだね

どうして北九州市は「住みよい」のか？

北九州市の産業力

北九州市には、ものづくりを支える高度な技術力が集積しています。専門性と熱意のある人材、豊富な食材などさまざまな強みを生かし、北九州市だからできる新しい産業の創出、数々のユニークな取り組みを行っています。

資源と技術と熱意は
このまちの大きな力だ！



「リノベーションまちづくり」で地域活性化！

北九州市では、空きビルや空き家などの遊休不動産をリノベーションの手法で再生し、産業振興、雇用創出、コミュニティ再生、エリア価値の向上などに取り組んでいます。まちづくり事業者や不動産オーナーと連携して事業を展開し、市内の各地区に新しいコンセプトのシェアオフィスや集合型ショップ、飲食店など、人が集う活気ある空間を生み出しています。

魚町サンロード商店街

リノベーションで新たに
ぎわいを創出したことが評価
され、平成29年、経済産業省
が選定する「はばたく商店街
30選」に「魚町サンロード商店
街協同組合」が選ばれました。



室町シュトラッセ

長崎街道沿いの空きビルを、リノベ
ーションで魅力あふれる建物に再生。
「シュトラッセ」はドイツ語で「通り」の意
味。飲食店や雑貨店、エステなど多様な
店舗が入居して「通り」から「まち全体」
を活性化し、にぎわいを創出しています。



風力発電関連産業の総合拠点化!!

陸上より設置できる領域が広く、安定した風を得られる洋上風力発電は、欧州を中心に導
入が進んでおり、今後、日本でも普及が期待されている再生可能エネルギーです。北九州市
では、国内初の大規模洋上ウインドファームの実現に向け取り組むとともに、洋上風力発電施
設の設置に欠かせない基地港湾を整備するなど、関連産業の総合拠点化を進めています。



「国家戦略特区」でさらに成長!!

新しい産業と雇用を創出する北九州市の新たな取り組み

国家戦略特区とは、地域を選定して規制改革などを行い、経済の活性化を図る制度です。北九州市は平成28年に特
区指定を受け、地方創生の成功モデル都市に向けて取り組んでいます。具体的には、介護ロボットの実証実装や公道の
活用、シニア・ハローワークの設置、自然環境を活かした特区民泊、若松産ワインづくりなどが行われています。

また、平成30年には「高度産業技術実証ワンストップサポートセンター」を開設し、ドローンや自動運転等の実証実験
の支援を強化しています。

介護ロボット等の実証実装

「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・
高齢化社会への対応」をテーマに、介護ロボットの開発と活
用に取り組んでいます。
介護職員の作業負担を
軽減するために、市内
の特別養護老人ホーム
で、どんなロボットが役
立つか調べる実証も行
われました。



▲移乗アシスト装置(安川電機)

公道を活用したにぎわいの創出

特区指定により、道路空間を活用したオープンカフェやマル
シェ等を継続的に実施できるようになりました。門司港レトロ地
区、魚町サンロード、小倉井
筒屋クロスロード、黒崎駅ペ
デストリアンデッキ、黒崎カ
ムズ通り、八幡けやきテラス
等で、地域団体による公道を
活用したにぎわい創出の取
組みが行われています。



▲クロスロードマルシェ

陸海空のインフラで産業を支える

本州と九州の接点に位置する北九州市は、交通の要衝でもあり、陸・海・空の
交通が充実しています。市内は公共交通機関が整備され、北九州空港、新幹線、
フェリーの利用で遠方へのアクセスも便利。平成28年には、東九州自動車道の北
九州市から宮崎市までが開通し、新たな高速道路網が形成されています。



北九州市の
平均的な通勤時間

24.4分

※数字は中位数

自動車
専用道路ランプまで
10分以内で行ける
エリアの人口カバー率

100%

北九州空港
24時間
利用可能

(資料:総務省 平成25年住宅・土地統計調査)

海のインフラを利用したクルーズ船誘致

北九州市では、西海岸(門司区)、ひびきコンテナターミナル
(若松区)の二港でクルーズ船寄港の誘致を行っています。海外
から来る乗客や乗組員へのおもてなしに力を入れ、買い物や観
光による経済効果が期待されています。



Topic

どうして北九州市は「住みよい」のか？

北九州市の環境力

北九州市は「世界の環境首都」を目指し、資源循環やエネルギー、水インフラなどの分野で先駆的な事業を行っています。

水環境の改善を担ってきた下水道は
海外にも優れた技術を提供しています。



響灘風力発電施設(若松区)

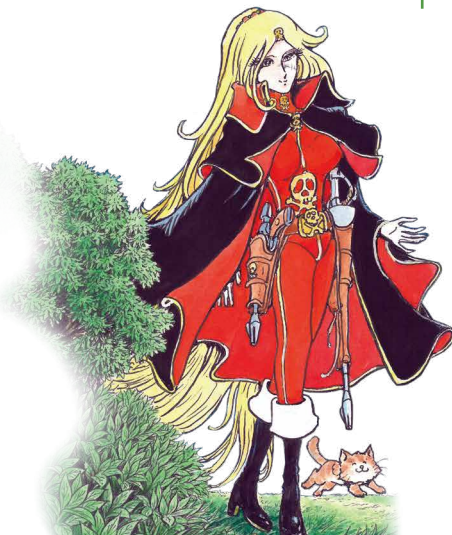
資源を循環し、廃棄物ゼロを目指す 北九州エコタウン事業の推進

エコタウン事業とは、「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること(ゼロ・エミッション)」を目指し、循環型社会の構築を図る事業です。北九州市では、環境・リサイクル産業の振興を柱とする「北九州エコタウンプラン」を策定し、平成9年に国から承認を受けました。基礎研究から技術開発・実証研究・事業化に至るまで総合的に推進しています。平成31年3月現在26社27事業が展開され、日本最大級の規模を誇っています。

世界からも注目される北九州エコタウン事業

北九州エコタウンは、循環型社会づくりのモデルとして、世界から注目されています。

廃棄物処理の問題に直面しているアジア地域などからの関心も高く、国内外から要人を含め、年間約10万人が視察や見学に訪れており、累計で170万人を超えました。



自然の力を生かした
先進技術が
住みよい環境を
つくっているのね

環境力を活かした国際展開

北九州市は公害克服の経験やノウハウ、アジア諸都市とのネットワークを活かし、国際協力を推進してきました。その技術力は世界的にも高く評価され、環境や上下水道等に関する国際ビジネスへと発展しています。

国際技術協力

インドネシア第2の都市スラバヤ市で、北九州市発の生ごみコンポスト化協力事業を実施。廃棄物の減量と資源化に成功し、上下水道、都市開発などの幅広い分野で協力関係を構築しています。



プノンペンの奇跡

カンボジアの首都プノンペンでは、北九州市の技術支援により、飲用可能な水道水の24時間供給を実現。漏水の早期発見や盗水の削減にも成功し、「プノンペンの奇跡」と呼ばれています。



北九州次世代エネルギーパーク 地球と技術のチカラを感じる施設が響灘地区に集積！

経済産業省から認定を受け、平成21年に若松区響灘地区で次世代エネルギーパークが始動しました。多種多様なエネルギーが集積しており、太陽光・風力・バイオマス等を活用した再生可能エネルギーなどの施設見学のほか、エコタウンセンター別館内にある展示コーナーではエネルギーについて学ぶことができます。



水素社会実現に向けた取り組み

北九州市は、究極のクリーンエネルギーとして注目される水素を活用する水素社会の実現を目指しています。燃料電池自動車(FCV)の普及拡大に加えて、平成30年7月には、八幡東区東田地区で「北九州水素タウン」を再始動させ、新たな技術開発のための実証事業を行うなど、先進的な取り組みを推進しています。



▲燃料電池自動車(FCV)

Topic

北九州市の水事情 きれいで安全な水を、より安く！

水道料金の安さは県内1位 大都市の中では第3位！

北九州市の水道料金は、全国の大都市と比較すると大阪市、浜松市に次いで第3位。湧水にも強く、水道水を安定供給しています。
(平成31年3月末時点)

工業用水料金は 政令市の中で最安値！

機械の冷却や製品の洗浄などに使われる工業用水を安い料金体系で提供し、北九州市のものづくり企業を支援しています。

下水道普及率は99.8% 大都市の中で第4位！

北九州市の下水道は、平成29年度末現在で普及率が99.8%。全国の大都市と比較すると、大阪市、東京都、横浜市に次いで第4位です。

Topic

技術と伝統の世界遺産

北九州市には、地域と共に歩んできた古い歴史を持つ文化財が多数あり、国内のみならず世界でもその価値が認められています。貴重な建築物や伝統的な祭りなど、市内各地に魅力があふれています。



北九州市八幡東区 官営八幡製鐵所 日本事務所

世界文化遺産

製鉄・製鋼、造船、石炭産業

明治日本の産業革命遺産

わが国は、幕末から明治にかけて、西洋技術の導入と日本の伝統技術との融合により、急速な産業化を成し遂げました。その歴史の歩みを証言する産業遺産群が世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」です。8県11市に広がる23資産からなる遺産群で、北九州市・中間市の官営八幡製鐵所関連施設の4施設【官営八幡製鐵所旧本事務所（八幡東区）・官営八幡製鐵所旧鍛冶工場（八幡東区）・官営八幡製鐵所修繕工場（八幡東区）・遠賀川水源地ポンプ室（中間市）】が構成資産として、登録されています。



北九州市八幡東区 官営八幡製鐵所 旧鍛冶工場



北九州市八幡東区 官営八幡製鐵所 修繕工場



中間市 遠賀川水源地ポンプ室



ユネスコ無形文化遺産

戸畑祇園大山笠

●国指定重要無形民俗文化財
●県指定有形民俗文化財

210年を超える歴史を持つ「戸畑祇園大山笠行事」は、福岡県夏の三大祭りの一つとして親しまれています。昼は勇壮な幟山笠が、夜には美しい提灯山笠に衣替えをします。毎年7月の第4土曜日を挟む3日間行われ、中日の夕方は一番の見どころ。東、西、中原、天籟寺の4基の大山笠と小若山笠が1箇所集結し、「ヨイトサ」のかけ声とともに、豪華で迫力ある競演を繰り広げます。

平成26年には、日本夜景遺産に認定。平成28年に「戸畑祇園大山笠行事」を含む全国33の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されています。

“工業都市”から“創造都市”へ

日本の近代工業化の歴史上、重要な役割を果たしてきた北九州市。世界遺産や産業観光をにぎわいの創出につなげるとともに、豊かな文化土壌を活かして、文化芸術の力でさらに輝く創造的なまちづくりに力を入れています。



文化芸術のまちづくり

北九州市は、ものづくりのまちとして発展する中で、大陸や首都圏などから人や情報が流れ込み、地域の文化と交わる「文化の先進地」として栄えてきました。そして現在、市民が暮らしの中で、文化芸術に気軽に触れ、鑑賞し、楽しむ機会を増やしながら、わがまちの魅力を向上していく取り組み（＝創造都市）を進めています。

文化芸術イベントの展開

音楽専用の響ホールや北九州ソレイユホール、舞台芸術の拠点である北九州芸術劇場を有し、「北九州国際音楽祭」など、市内外から注目を集めるイベントが開催されています。



▲北九州国際音楽祭

先進的なアートシーン

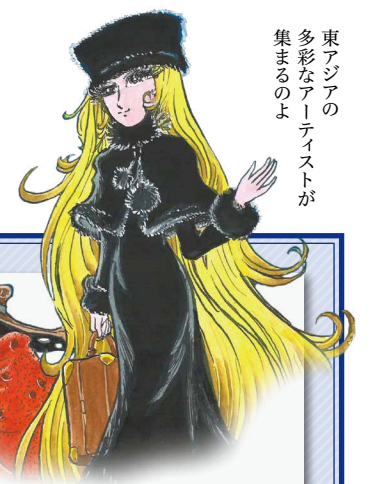
漫画ミュージアム(P19)やポップカルチャーフェスティバルなどを通じ、漫画・アニメの魅力を若い世代に発信しています。また、北九州フィルム・コミッション(P20)による数々の撮影実績があります。



▲ポップカルチャーフェスティバル

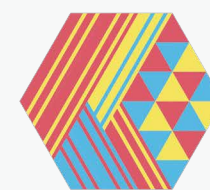
豊かな文化土壌

優れた作家や詩人・俳人を多数輩出しており、文学館や松本清張記念館など、文学にまつわる文化施設が充実しています(P19)。



東アジアの多彩なアーティストが集まるのよ

Topic



東アジア文化都市
2020北九州
CULTURE CITY OF EAST ASIA 2020 KITAKYUSHU

の開催

北九州市は、これまでの文化芸術への取り組みが認められ、文化庁より九州で初めて「東アジア文化都市」の国内都市に選定されました。これは、日中韓3カ国それぞれで選定された都市において、年間を通してさまざまな文化芸術イベントを開催するものです。開催を契機として、「創造都市・北九州」の実現に向け、さらに推進していきます。

2019
プレイベント

プレ期間

2020
3月28日(土)開幕式典

夏のコア期間
7月中旬▶8月中旬

年間を通じて中国・韓国との交流、さまざまなプログラム・イベントを開催します。

11月下旬▶12月
閉幕式典

秋のコア期間
10月▶11月

オリパラ・ウェルカムプログラム

東京オリンピック・パラリンピックの期間に合わせ、世界に誇れる日本や北九州市の「伝統芸能」をテーマに取り組みます。

東アジア文化都市2017京都▶
狂言×中国変面「からくり人形」



東アジアアートプログラム

文化芸術の秋に、世界共通の目標である「SDGs」、漫画・アニメや映画などの「メディア芸術」、優れた文学者を多数輩出している「文学」をテーマに取り組みます。

ART for SDGs▶
(SDGsをテーマとした現代アートフェスティバル)



豊かな文化と 北九州市の誇り 文化 & スポーツに触れる

北九州市は、誰もが文化やスポーツを楽しむことができるまち。
漫画家・松本零士さんが名誉館長を務める北九州市漫画ミュージアムをはじめ、文学、演劇、音楽イベントなどで、全国に質の高い文化を発信しています。そして、プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」が市民の心を熱くしています。

「作家・漫画家」ゆかりの

作家 森 鷗外
作家 林 芙美子
作家 火野 葦平
作家 佐木 隆三
作家 葉室 麟

俳人 杉田 久女
詩人 宗 左近
作家 村田 喜代子
作家 平野 啓一郎
作家 松本 清張

イラストレーター・作家 リリー・フランキー
漫画家 関谷 ひさし
漫画家 松本 零士
漫画家 キクチ マサフミ
漫画家・イラストレーター わたせ せいぞう

漫画家 北条 司
漫画家 陸奥 A子
漫画家 文月 今日子
漫画家 萩岩 睦美
漫画家 冬木 るるか

他多数

北九州市漫画ミュージアム 小倉北区浅野二丁目14-5 あるあるCity5・6階

平成24年、数々の著名な漫画家を輩出した北九州市に開館。「見る・読む・描く」をテーマに、漫画文化を広く紹介しています。地元ゆかりの漫画家の作品展示のほか、漫画の歴史や仕組みについて解説するコーナーなどもあります。約5万冊の蔵書を自由に読める「閲覧（よむ）コーナー」では、専門スタッフがおすすめの商品を紹介。また、定期的に漫画を描くワークショップも開催し、年間を通して漫画やアニメに関するさまざまな作品の企画展も行っています。

北九州市立文学館

小倉北区城内4-1

北九州市にゆかりのある文学者を自筆の原稿や映像などで紹介するとともに、さまざまな企画展を開催しています。北九州市が持つ豊かな文化土壌に触れることのできる施設です。

※リニューアルのため、令和元年9月2日から令和2年3月下旬まで休館。



▲磯崎新氏の設計による特徴的な建物

北九州市立松本清張記念館

小倉北区城内2-3

松本清張の七回忌にあたる平成10年8月4日に開館。社会派推理小説をはじめ、歴史小説、古代史、現代史など、多岐にわたって創作活動を続けた作家・松本清張の業績を称え、その生涯や作品だけでなく、東京都杉並区の自宅の書庫、応接間、書斎も再現展示しています。平成30年には20周年を迎え、特別企画展や講演会などの記念イベントを行いました。



北九州市立美術館

戸畑区西鞘ヶ谷町21-1

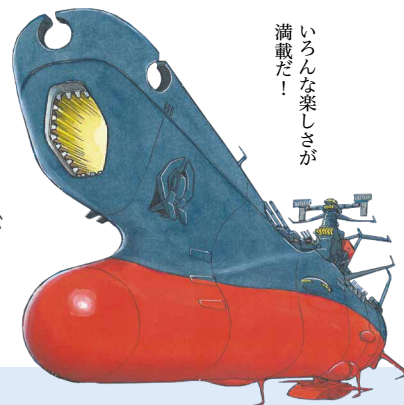
昭和49年、西日本における公立美術館の先駆けとして開館。豊富な収蔵品を常時展示すると同時に、企画展を開催しています。個性的な形の建物は、建築家・磯崎新氏が設計しました。平成27年から長期休館して大規模改修工事を行い、平成29年11月にリニューアルオープンしました。



森鷗外旧居

小倉北区鍛冶町一丁目7-2

文豪・森鷗外が、旧陸軍第12師団軍医部長として小倉に着任したときに住んだ家です。明治32年6月に赴任し、1年半をこの鍛冶町の家で過ごしました。軍務のかたわらこの家で「我をして九州の富人たらしめば」「鷗外漁史とは誰ぞ」などを発表し、翻訳も手掛けました。東京に帰ってから書いた小説「鷄」は、この家が舞台となっています。鷗外が去った後はかなり改造されていましたが、昭和56年に市が買収して復元しました。



いろいろな楽しさが満載だ！



北九州フィルム・コミッション

北九州市は、全国に先駆けて平成元年から映画やドラマなどの撮影誘致と支援に取り組み、平成12年には北九州フィルム・コミッションを設立。雄大な自然、近代的な都市景観、レトロな街並みなど多彩なロケーションを生かし、撮影を全面的に支援しており、市民エキストラの登録数は約9,000人を超えます。数多くのロケが市内各地で行われ、「映画の街」として国内外の映画・ドラマ製作関係者から注目を集めています。街ぐるみの撮影協力が評価され、「東京ドラマアウォード2014・特別賞」「第23回福岡県文化賞」「平成28年度ふるさとづくり大賞」を受賞しました。

劇場版「ビルド・ア・バット」製作委員会 ©石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映



北九州マラソン

平成26年に市制50周年記念事業のフィナーレイベントとして初開催されました。第6回目となる北九州マラソン2019では、1万人以上のランナー、約5千人のボランティア、沿道からは約25万人の声援が送られるなど、北九州市の魅力を全国に発信しました。

北九州市立いのちのたび博物館

(自然史・歴史博物館)

八幡東区東田二丁目4-1

平成14年、3つの博物館(自然史、歴史、考古)が一体となり誕生しました。「いのちのたび」をテーマとして、46億年前の地球誕生から現代に至る「自然と人間のいのちの歩み」を壮大なスケールで展示した西日本最大級の博物館です。



©GIRAVANZ

ギラヴァンツ北九州

平成22年にJリーグに参入した北九州市のシンボルチーム「ギラヴァンツ北九州」。プロスポーツチームの存在は地域に活力を生み、その活躍は市民の誇りとなり、子どもたちに夢と感動を与えます。平成29年2月にオープンしたスタジアムを拠点に、さらなる飛躍を目指しています。



ミクニワールドスタジアム北九州

小倉北区浅野三丁目9-33

平成29年2月、小倉駅新幹線口から徒歩7分の場所にオープンした「ギラヴァンツ北九州」のホームスタジアム。Jリーグやラグビーワールドカップの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンドゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放やイベントの開催など、市民に夢と感動を提供しています。



1 若松バンド

若松南海岸通りの「若松バンド」は、大正期の建物を中心とした近代港湾都市固有の帯状の都市空間です。石炭で栄えた歴史を伝え、景観的にも優れた地域です。

2 火野葦平資料館

若松に生まれ、故郷と河童を愛した作家・火野葦平。資料館は若松市民会館内にあり、復元された書斎や写真パネル、日記やノートなどが展示されています。



3 安川電機ロボット村

産業用ロボットの最先端をいく安川電機が、平日の日中、黒崎にある八幡西事業所の一部を一般に公開しています。その名も「ロボット村」。100種類以上の植物や樹木が茂る「YASKAWAの森」や体感型施設の「安川電機みらい館」、技術の宝庫である「ロボット工場」など、ものづくりの“いま”を知ることができます。「みらい館」と「ロボット工場」は、事前予約制です。



4 長崎街道木屋瀬宿記念館

木屋瀬は、豊かな自然に抱かれて、街道と水運で栄えた宿場町。かつて舟着き場の目印だった大銀杏は、今は長崎街道木屋瀬宿記念館の目印となっています。

歴史への旅体験をテーマとした「みちの郷土史料館」と芝居小屋風の多目的ホール「こやのせ座」からなる長崎街道木屋瀬宿記念館は、宿場町の御茶屋(本陣)・町茶屋(脇本陣)跡地に建っています。旅人の気分を味わいながら、宿場町の風情を感じることができます。



5 河内藤園

アメリカの放送局・CNNで「日本の最も美しい場所31選」に選ばれた広大な私営藤園。4月下旬～5月中旬には22種類の藤の花が咲き乱れ、11月下旬頃には約700本の紅葉が見ごろを迎えます。



北九州市は見どころいっぱい!! 観光 & おでかけMAP

大都市なのに、自然もいっぱい。それが、北九州市の魅力です。まちの根幹である“ものづくり”を感じる施設や、文化に親しむスポットも盛りだくさん。新発見も、再発見もありそうなワクワクの冒険へ、出かけましょう。



6 門司港レトロ

明治後期から昭和初期にかけて、横浜・神戸と並ぶ国際貿易港として栄えた門司港。当時の面影をいまに残す美しいまちには、カフェや雑貨店が並びます。夜景の名所でもあり、展望室もあります。



7 小倉城

慶長7年(1602年)に細川忠興公が築城した名城。昭和34年に市民からの熱い要望により再建されました。夜はライトアップされた白壁や、堀の水面に映る天守閣などを撮影する人々にぎわう人気スポットです。平成31年3月に展示内容と内装を一新しました。



北九州工場夜景

全国屈指の工場地帯である北九州市では、陽が沈むと幻想的な灯りに照らされる工場夜景を見ることが出来ます。小倉・戸畑地区沿岸の広大な製鉄所とその関連工場や、洞海湾沿岸の化学工場をはじめ多種多様なプラント群など、大規模な工場群が深い闇の中で美しく重厚な景観をつくり出します。海上から鑑賞できる「工場夜景観賞クルーズ」は、大変人気があります。

8 旧松本家住宅

明治専門学校(現九州工業大学)の創設者、松本健次郎が建てた明治後期の建造物で、徹底したアール・ヌーボー様式が特徴。設計は、東京駅を設計した辰野金吾の主催する辰野・片岡事務所。国の重要文化財です。



9 曽根干潟

小倉南区の東側に広がる市内最大の干潟(面積517ha)。多種多様な生物が生息し、冬には大陸から渡り鳥が飛来してきます。古くから漁業が営まれており、人々の生活の場としても重要な干潟です。



10 平尾台

日本有数のカルスト台地で、国定公園に指定されています。羊の群れのように見えるのは、石灰岩。地下には国の天然記念物である千仏鍾乳洞などいくつかの鍾乳洞があります。キャンプ場や民泊施設もあり、季節ごとに変化する自然を感じることができます。



北九州市は“うまいもん”だらけ 食の宝庫de美味三昧

北九州市は、食材の宝庫。まちを囲む海と山、そして生産者の愛情に育まれ、生まれた名産の数々は、郷土の誇りというにふさわしい逸品ぞろいです。



関門海峡たこ

関門海峡の速い潮流にもまれて育ったタコは、身が引き締まり、風味が豊か。かめばかむほどうま味が増し、ふくよかな甘みがあると評判です。



若松潮風®キャベツ

玄界灘に面した畑で、潮風を浴びながら育ったキャベツは、ミネラルが豊富で甘みたっぷり。



豊前海一粒かき

豊前海で養殖されるカキは、初冬になると身入りのよい大粒に成長します。産地直売や宅配便での販売のほか、12〜3月にはカキ小屋で食べることができます。



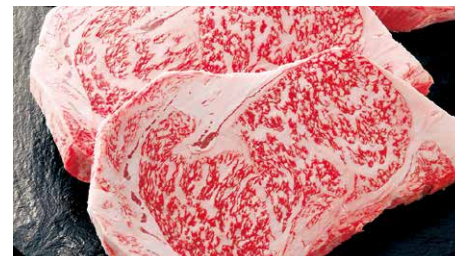
若松水切りトマト

与える水を極限にまで減らして育てたトマト。フルーツ並みの糖度と、程よい酸味を備えた逸品の野菜です。



合馬たけのこ

日本の一流料亭に出荷されるその味は、まさに日本一。旬の新鮮なタケノコは、生食も可能です。合馬では、タケノコ掘りもできます。



小倉牛

霜降りの鮮やかさや色、艶など、厳しい肉質検査を通過してはじめて「小倉牛」の称号が与えられます。うま味あふれる肉汁と舌の上でとろけるような食感が、小倉牛の真骨頂。

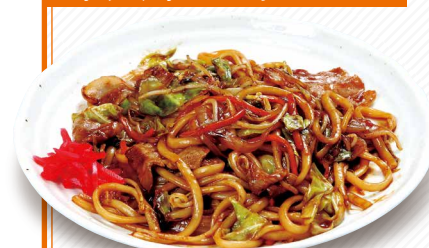
あかもく

あかもくの特長は、今、注目を浴びているフコイダンが多く含んだ粘り気。モチモチとした食感で、臭みもなくさっぱりしているため、そのまま三杯酢などで食べるのはもちろん、どんな料理に入れても相性が良いと評判です。



Topic

北九州のご当地グルメ



小倉発祥焼うどん

終戦直後、焼きそば用のそば玉がなかったため、代用としてうどんの乾麺を使ったのがはじまりだとか。いまや小倉名物として定着しています。



門司港発祥 焼きカレー

ご飯の上にカレー、チーズ、卵をのせ、グラタン風にオープンで焼いたもの。店によってトッピングも多彩です。チーズの香ばしさが美味。



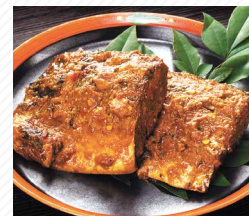
戸畑チャンポン

戸畑が日本一の遠洋漁業基地だった70〜80年前に誕生。長崎とはひと味違うコシの強い蒸した細麺が特徴です。



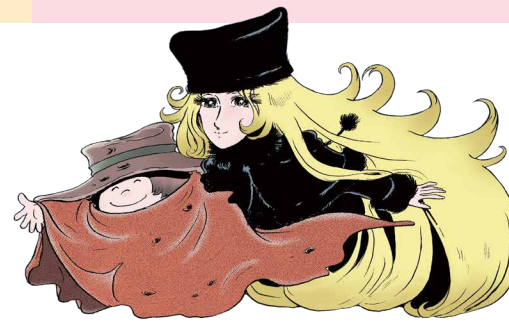
八幡ぎょうざ

八幡製鐵所で働く製鉄マンに愛された、安くてもスタミナ満点の一皿。店によって味わいもさまざま。食べ比べも楽しめます。



ぬか炊き

サバやイワシなどの青魚をしょうゆやみりんなどで煮込み、ぬかみそや山椒などを入れて炊いた郷土料理。ご飯にも、お酒にもぴったりです。



鉄郎、ご覧下さい。
このまちにあふれる魅力を

首都圏クラス
の大イベント



TGC 北九州 2019

西日本総合展示場新館 令和元年10月5日(土)

「TGC北九州」は、史上最大級のファッションフェスタ「東京ガールズコレクション」初の地方創生プロジェクトとして、これまで、北九州市に新しい文化や人の流れを作り出しました。5年連続開催となる今回のテーマは「Celebration」。モデルやアーティスト等、豪華出演者によるステージショーのほか、地元学生による衣装デザインやボランティアスタッフとしての参加など、市民参加型プログラムも充実した「北九州市が全国に発信する」イベントです。



北九州ポップカルチャーフェスティバル2019

西日本総合展示場、あるあるCityなど

北九州市とあるあるCityがタイアップした、ポップカルチャーの一大イベント。平成26年から毎年盛大に開催されています。小倉駅新幹線口エリアで、漫画・アニメなどの作品展示や体験型イベントを11月30日(土)・12月1日(日)の2日間にわたって楽しめます。



関門海峡花火大会 毎年8月13日

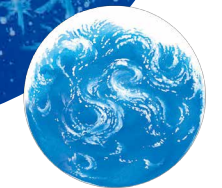
関門海峡をはさんで、門司港と下関の両岸から競うように花火が打ち上げられます。大玉や音楽花火など趣向もさまざまで、打ち上げ数は双方合わせて約1万5,000発。目の前の花火を楽しみながら関門海峡越しにも花火が眺められ、ほかでは味わえないぜいたくな一夜が楽しめます。



わっしょい百万夏まつり

毎年8月第1土曜日および日曜日と前夜祭金曜日の3日間

北九州市を代表する祭りとして、例年150万人を超える人が市内外から訪れます。約1万発の花火を音楽にのせて打ち上げる、前夜祭の「わっしょい百万大花火」や、小倉祇園太鼓や戸畑祇園大山笠、黒崎祇園山笠など、各地の顔というべき山笠や山車が集結する「夏まつり大集合」、1万人が一丸となって踊る「百万踊り」など、北九州市民の力と活気がピークに達する大イベントです。



北九州市の歴史

明治 4年 令和 元年

北九州市発足前

明治 4年【1871年】	
12月	豊津・中津・千束県を統合した小倉県を改廃し、福岡・小倉・三潁の県を置く
明治32年【1899年】	
4月	門司市制施行
明治33年【1900年】	
4月	小倉市制施行
明治34年【1901年】	
11月	官営八幡製鐵所作業開始式
大正 3年【1914年】	
4月	若松市制施行
大正 6年【1917年】	
3月	八幡市制施行
大正13年【1924年】	
9月	戸畑市制施行
昭和17年【1942年】	
7月	関門鉄道トンネル開通
昭和34年【1959年】	
6月	小倉市が米国のタコマ市と姉妹都市締結
7月	門司市が米国のノーフォーク市と姉妹都市締結
昭和37年【1962年】	
9月	若戸大橋開通
昭和38年【1963年】	
2月10日	北九州市発足 (門司・小倉・若松・八幡・戸畑の5市が対等合併)
3月11日	初市議会開会
3月15日	市長選挙、初代市長に吉田法晴氏
4月 1日	政令指定都市となる
昭和39年【1964年】	
4月19日	世界初の5市対等合併調査のため国連調査団が来市
昭和40年【1965年】	
2月20日	北九州市長期総合基本計画決定
9月 1日	ばい煙規制法の全面適用を受ける
昭和42年【1967年】	
2月23日	市長選挙、2代(～6代)市長に谷伍平氏
昭和44年【1969年】	
4月15日	戸畑共同火力(株)と第1号の公害防止協定締結
昭和45年【1970年】	
4月 1日	北九州市公害防止条例公布
昭和47年【1972年】	
4月10日	新市庁舎開庁
昭和48年【1973年】	
11月14日	関門橋開通
昭和49年【1974年】	
3月23日	北九州市基本構想策定
4月 1日	7区制発足
昭和52年【1977年】	
5月14日	西日本総合展示場開設
昭和53年【1978年】	
10月 1日	救命救急センター開設
昭和54年【1979年】	
5月 1日	中国の旅大市(現・大連市)と友好都市締結
11月	太刀浦コンテナターミナル供用開始



昭和59年【1984年】	
2月16日	同和対策総合計画策定
昭和60年【1985年】	
1月 9日	北九州都市モノレール開業
4月 1日	都市景観条例施行
昭和61年【1986年】	
7月 5日	アドベンチャープール開設
昭和62年【1987年】	
2月 8日	市長選挙、7代(～11代)市長に末吉興一氏
10月 1日	民事暴力相談センター開設
昭和63年【1988年】	
4月 1日	同和対策実施計画(63年度～66年度)策定
7月29日	第1回わっしょい百万夏まつり開催(～31日)
12月 9日	北九州市基本構想・部門別計画[北九州市ルネッサンス構想]策定
12月20日	韓国の仁川直轄市(現・仁川広域市)と姉妹都市締結
平成元年【1989年】	
3月26日	ひびき動物ワールド開園
11月 1日	文書館開設・北九州市情報公開制度発足
平成 2年【1990年】	
6月 5日	国連環境計画「グローバル500」受賞
10月 6日	北九州国際会議場開設
平成 3年【1991年】	
5月 7日	市立医療センター(旧小倉病院)開設
7月22日	レムチャパン港(タイ)と姉妹港を締結
平成 4年【1992年】	
3月28日	第1回パラグライダーワールドカップ開催(～4月5日)
4月 1日	グリーンパーク開園
6月 1日	日明工場粗大ごみ資源化センター開設
6月 4日	地球サミットで国連地方自治体表彰受賞
平成 5年【1993年】	
4月27日	北九州市高齢化社会対策総合計画策定
7月 7日	かん・びん分別収集開始
7月30日	響ホール開設
平成 7年【1995年】	
3月25日	門司港レトログランドオープン
7月 1日	女性センター「ムーブ」開設
平成 8年【1996年】	
2月21日	大連環境モデル地区整備計画がODAに採択
4月26日	北九州市障害者施策推進基本計画策定
8月31日	白島石油備蓄基地完成
平成 9年【1997年】	
7月10日	国のエコタウン事業承認地域に決定
11月 5日	ペットボトル分別収集開始
平成10年【1998年】	
4月 1日	北九州都市モノレール延伸(JR小倉駅と結節)
7月 1日	一般ごみ指定袋制開始
7月14日	全国最大規模のペットボトル再生処理工場操業開始
8月 4日	松本清張記念館開設
9月29日	小倉城庭園開園
10月 4日	メディアドーム開設
平成11年【1999年】	
10月 1日	総合保健福祉センター「アシスト21」開設
11月11日	ピッツバーグ市(米国)と国際ビジネスパートナー都市提携調印
平成12年【2000年】	
3月23日	市役所庁舎がISO14001(環境管理の国際規格)の認証取得
8月31日	アジア・太平洋環境大臣会議in北九州開催(～9月5日)
9月27日	北九州フィルム・コミッション設立
平成13年【2001年】	
1月 1日	北九州環境基本条例施行
1月 1日	長崎街道木屋瀬宿記念館を開設
6月27日	北九州市エコタウンセンター開設



7月 4日	ジャパンエキスポ「北九州博覧祭2001」開催(～11月4日)
11月16日	子どもの館「HOW!？」開設
平成14年【2002年】	
2月26日	北九州市人権・同和行政の基本方針策定
4月 6日	環境ミュージアム開設
4月13日	到津の森公園開園
8月23日	世界車椅子バスケットボール選手権大会「北九州ゴールドカップ」開催(～9月1日)
11月 3日	いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)開設
平成15年【2003年】	
4月 1日	早稲田大学大学院情報生産システム研究科と北九州市立大学大学院国際環境工学研究科が北九州学術研究都市に開設
4月20日	平尾台自然の郷開園
8月11日	北九州芸術劇場を開設
平成16年【2004年】	
8月26日	若者ワークプラザ北九州開設
9月28日	ホームレス自立支援センター北九州開設
平成17年【2005年】	
4月 1日	ひびきコンテナターミナル供用開始
10月25日	北九州市自然環境保全計画策定
12月23日	子育てふれあい交流プラザ「元気のもり」開設
平成18年【2006年】	
2月26日	東九州自動車道(北九州)JCT～苅田北九州空港IC)開通
3月16日	新・北九州空港開港
11月 1日	文学館開設
平成19年【2007年】	
1月25日	北九州市国民保護計画策定
2月 4日	市長選挙、12代(～現在)市長に北橋健治氏
4月 2日	プラスチック資源化センター稼働開始
4月21日	北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)開設
5月27日	政令市初・九州初の「ほたるサミット」開催(～28日)
6月 1日	紫川マイタウン・マイリバー整備地区が都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」受賞
6月 1日	全国初の「リサイクルポート」供用開始
7月 1日	北九州学術研究都市にカー・エレクトロニクスセンター開設
7月18日	北九州市集客交流計画(にぎわいづくりプラン)策定
平成20年【2008年】	
4月 1日	モラルマナーアップ関連条例施行
7月22日	「環境モデル都市」に国が認定
10月 2日	北九州市応援団を発足
12月 8日	北九州市基本構想・基本計画「元気発進! 北九州プラン」を策定
平成21年【2009年】	
4月17日	ベトナム・ハイフォン市と交流協定締結
5月25日	「北九州市食育推進計画」を策定
7月27日	「北九州次世代エネルギーパーク」をオープン
9月18日	八幡東区東田に「北九州水素ステーション」が完成
11月13日	「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を策定
平成22年【2010年】	
2月10日	北九州市非核平和都市宣言
4月 2日	「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に国が選定
6月 3日	ロシア・チェリャビンスク市と経済協力協定を締結
6月 4日	アジア低炭素化センターを開設
7月 1日	北九州市暴力団排除条例を施行
10月 1日	北九州市自治基本条例を施行
平成23年【2011年】	
3月 9日	初の海外水ビジネスをカンボジア・シェムリアップ市で受注
3月12日	東日本大震災の被災地支援開始
4月 6日	被災地支援のための「絆プロジェクト」開始
6月17日	経済協力開発機構(OECD)からグリーンシティプログラム「のグリーン成長都市」に認定
10月11日	全区役所でワンストップサービス開始
12月22日	環境未来都市、国際戦略総合特区に選定



平成24年【2012年】	
4月 2日	水・環境ソリューションハブに国が認定
7月 1日	黒崎副都心「文化・交流拠点地区」オープン
8月 3日	漫画ミュージアム開設
8月31日	東日本大震災による宮城県石巻市の災害廃棄物の受け入れについて、宮城県と委託契約を締結
9月15日	新若戸道路(若戸トンネル)が開通
10月 6日	響灘ピオトーブオープン
10月20日	ご当地グルメの祭典! B-1グランプリin北九州を開催(～21日)
11月12日	スラバヤ市(インドネシア)と環境姉妹都市に関する覚書を締結
平成25年【2013年】	
2月 6日	独立行政法人国際協力機構(JICA)と環境に関する連携協定を締結
2月10日	市制50周年記念式典を開催
3月28日	北九州市新成長戦略を策定
5月 5日	日中韓3ヵ国環境大臣会合開催(～6日)
5月23日	OECDグリーンシティ・プログラムの北九州レポートが発行
7月11日	日本貿易振興機構(ジェトロ)と連携協定を締結
8月23日	市制50周年記念事業「市民太陽光発電所」が竣工
9月17日	「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が世界文化遺産に推薦決定
10月25日	産業用ロボット導入支援センターを開設
平成26年【2014年】	
2月 9日	市制50周年記念 北九州マラソン2014を開催
4月18日	ベトナム・ハイフォン市と姉妹都市協定を締結
6月25日	新成長戦略 都心集客アクションプランの公表
10月 9日	ベトナム・ハイフォン下水道排水公社と下水道技術協力・交流に関する覚書を締結
10月10日	夜景サミット2014in北九州開催
10月23日	北九州フィルム・コミッション「東京ドラマアウォード2014特別賞」受賞
平成27年【2015年】	
3月17日	「洋上風力発電モデル地域」採択
4月17日	官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース開設
7月 8日	「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録
10月17日	「TGC KITAKYUSHU 2015 by TOKYO GIRLS COLLECTION」を初開催
平成28年【2016年】	
1月29日	国家戦略特区に指定
3月29日	カンボジアの首都・プノンペン都と姉妹都市協定を締結
4月24日	東九州自動車道(北九州市～宮崎市間)が全線開通
5月1・2日	G7北九州エネルギー大臣会合開催
7月 2日	「50歳から住みたい地方ランキング」で北九州市が全国第1位を獲得
8月29日	国家戦略特区「シニア・ハローワーク戸畑」開所
11月10日	第2回世界獣医師会・世界医師会“One Health”に関する国際会議(～11日)
12月 1日	戸畑祇園大山笠行事のユネスコ無形文化遺産登録(現地時間11月30日)
平成29年【2017年】	
2月 1日	ミクニワールドスタジアム北九州(北九州スタジアム)オープン
4月28日	日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」認定
5月10日	証明書コンビニ交付サービス開始
7月10日	平成29年7月九州北部豪雨災害復旧・支援本部の設置
11月 3日	市立美術館リニューアルオープン
12月26日	第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞
平成30年【2018年】	
2月10日	市制55周年記念式典を開催
4月18日	OECDが「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に北九州市を選定
6月15日	「SDGs未来都市」に選定
8月 8日	「東アジア文化都市」2020年国内開催地に選定



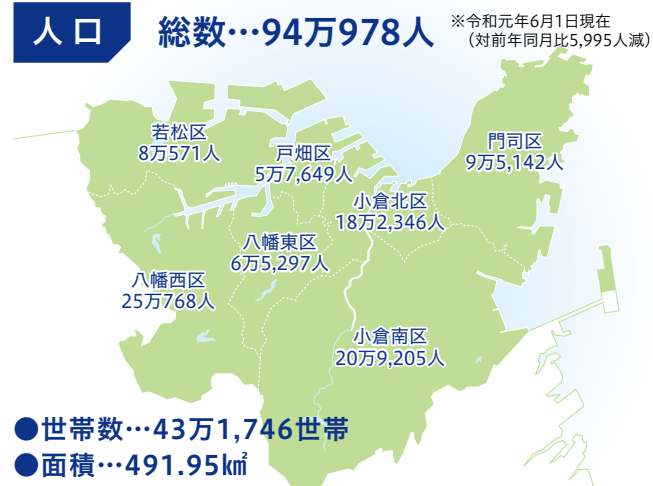
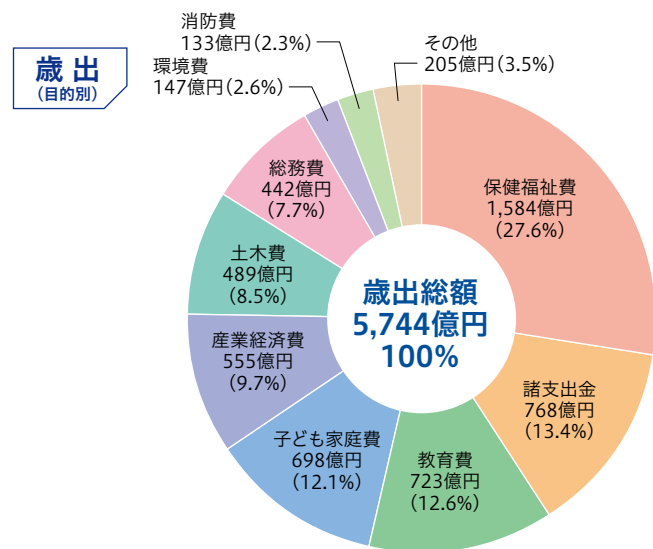
データで見る北九州市

令和元年度一般会計予算(歳入・歳出)

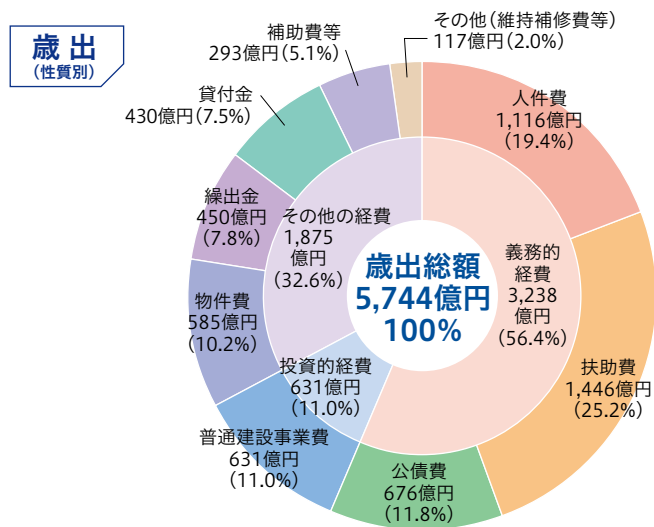
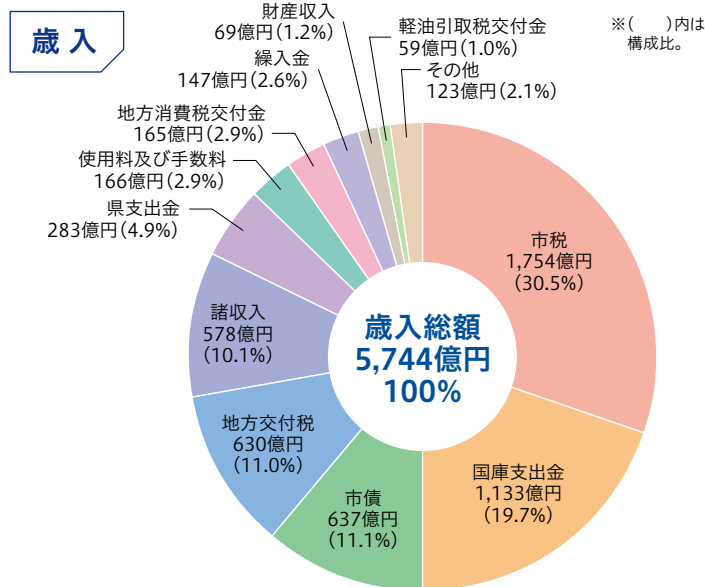
人や投資の流れを呼び込み、まちの魅力をさらに高める日本一住みよいまち実現予算

令和元年度は、次代を見据えたまちづくりの第一歩となる節目の年です。北九州市の魅力である「暮らしやすさ」「住みよさ」にさらに磨きをかけ、まちの成長に向けた歩みを力強く進めていきます。取り組みの柱は、次の4つです。

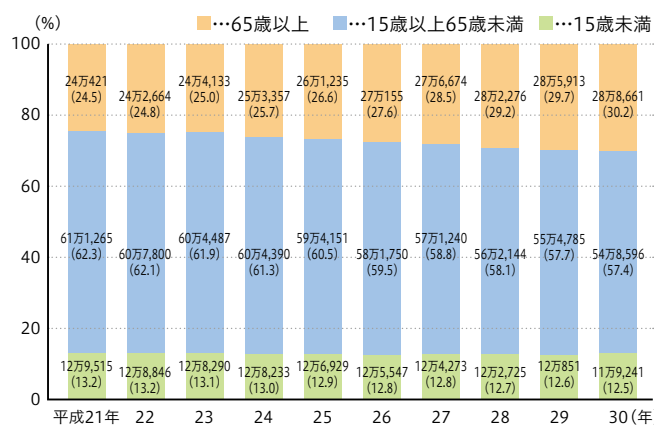
- 1 人や投資の流れを加速させる経済成長戦略の実行
- 2 まちの魅力や活力を生み出す文化・スポーツの振興
- 3 安全・安心のまちづくり
- 4 住みよいまちの実現
～「元気発進!北九州」プランの総仕上げ～



※平成27年国勢調査に基づく推計人口および世帯数。面積は令和元年6月1日現在。



年齢3区分別人口の推移 (各年9月30日現在)



※住民基本台帳に基づく人口。24年以降は外国人も含む。

北九州市アラカルト

市章

市章を形づくる5つの花びらは、合併による旧5市の一体化を表し、中央は北九州の「北」と九州の「九」、および「大」の字を表しています。また、星形の図案は、歯車で工業を、放射形で市の発展を、それぞれ表しています。



北九州市7区の紹介

門司区	小倉北区	小倉南区
門司港レトロ地区をはじめとする豊かな観光資源を有し、海峡と歴史のロマンあふれるまち。古くから九州の陸、海の交通の要衝として栄えてきました。	商業や流通、金融、情報、医療、コンベンションなどの機能が集積した、北九州都市圏の中核をなすまち。城下町としての歴史や文化も薫ります。	日本有数のカルスト台地として知られる平尾台等、多彩で豊かな自然に加えて、北九州空港や自動車産業など、新しい産業が息づく躍進のまちです。

若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
若松北海岸やグリーンパーク等の豊かな自然に加え、環境産業のまちとしてエコタウン事業、次世代エネルギー関連施設などの集積が進んでいます。	世界遺産官宮八幡製鐵所関連施設を有し、血倉山からの眺望は新日本三大夜景に選定。集積する博物館群を文化拠点としたまちづくりも進んでいます。	市内で最も人口が多く、充実した都市機能をもつ副都心。学園都市のにぎわいや長崎街道旧宿場町などの歴史、美しい自然が融合するまちです。	ユネスコ無形文化遺産の「戸畑祇園大山笠行事」を有する歴史に加え、教育、文化、福祉などの施設が充実。心豊かで快適な生活が楽しめる、文教のまちです。

北九州市の花とシンボルツリー

昭和57年に市民の皆さんからの応募をもとに、市の花として「つつじ」と「ひまわり」を制定しました。「つつじ」は、公園や公共施設などで、市民に広く親しまれている花です。「ひまわり」は花が太陽に向き、活力にあふれていることから、ダイナミックな北九州市を象徴する花です。「いちいがし」はブナ科の高木で、幹は枝分かれが少なく直立し、高さ30m以上、直径1m以上に成長します。天に向かってそびえる姿が美しく、北九州市域の郷土樹であることから、シンボルツリーに選ばれています。



姉妹都市・友好都市

タコマ市(アメリカ)

昭和34年(1959年)6月、姉妹都市を締結。シアトル市の南方に位置し、コメンズメント湾に面したワシントン州第3の都市。
○人口約20万人 ○面積129km²



ノーフォーク市(アメリカ)

昭和34年(1959年)7月、姉妹都市を締結。バージニア州チェサピーク湾に臨む約300年の歴史を持つ都市。
○人口約25万人 ○面積140km²



大連市(中国)

昭和54年(1979年)5月、友好都市を締結。遼東半島の南端に位置し、中国東北方最大の貿易港である大連港を擁する港湾都市。
○人口約596万人 ○面積1万2,574km²



仁川広域市(韓国)

昭和63年(1988年)12月、姉妹都市を締結。首都・ソウルの西方約28kmに位置する韓国西海岸の交通・産業の中心都市。
○人口約300万人 ○面積1,046km²



ハイフォン市(ベトナム)

平成26年(2014年)4月、姉妹都市を締結。ベトナム北部、首都ハノイ市の東100kmに位置する北部最大の港湾都市。
○人口約196万人 ○面積1,562km²



プノンペン都(カンボジア)

平成28年(2016年)3月、姉妹都市を締結。カンボジアの首都で、政治・経済・文化の中心地であり、カンボジア随一の大都市。
○人口約201万人 ○面積684km²

